

(第三種郵便物認可)

1990年(平成2年)5月25日(金曜日)

尊敬する衆議院議長、参議院議長、そして両院議員のみなさま、私は大韓民国の国家元首として、歴史上初めて日本国会の演壇に立てたことを光栄に思っています。それは、この議事堂が過去百年間の日本における議事堂の発展の場であり、みなさまがまさに世界で最も繁栄と民主主義国家を達成した一億三千方の日本国民を代表しているからです。私がこの演壇に立ちまでは、韓国と東洋の将来に思いをはせた多くの先覚者の夢と犠牲、時代の激浪がありました。韓国は古来平等と眞の道を歩いたのに対し、私は感謝と深きたまに謝意を表し、大韓民國国民が日本国民に送る温かい友情のあいさつを伝えます。

今回、私の演説の機会を与えて下さった衆参両院議長と野党各院の指導者と議員のみなさまに感謝を表します。大韓民國が日本の偉業を成し得たので、私は感動と深い感觸を覺えます。

私は韓日両国が相互尊重と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

なればなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あり得ないでしょう。

私は韓半島の人民の命と財産を根こそぎ奪い去りました。

一世紀前にした世界の激

変のなかで、隣接したわが両

国は未来志向的な関係を開くべきであるとの表情から、本

私は忌憚(きだい)な意見

をみきまことに披露する所存

であります。

第一次大戦の終戦と同時に

韓日両国はおのおの新しい国

づくりに励みました。それか

らすべてのものが変わりました。わが両国国民は姿化とともに大きな成就を得ることができました。しかしわが国

は決して挫折しませんでし

た。

韓日両国は戦争の廃墟のうえで、世界へ向

へ向かう人の心が芽生えました。

やまわれたのである経済大国を建設しました。日本は科学技術でも世界の先頭を進む国家

として、歴史上初めて日本

の発展を成し遂げようとしていました。暗い時代を生きているからです。私がこの

日本はいま西洋を追い抜

くといふ夢をかなえ、日本の

伝統文化に西洋文化を融合す

る独創的努力を続けながら、

新しい文化を誇る国際になり

ました。私はこの偉業を成し得た日本国民と指導者たちに敬意を表します。

四十五年前、植民地統治から解き放たれた韓国国民の喜

びはある日突然国土分断の悲しみに陥りました。それ

以降わが民族は試練の道を歩

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

と理解に基づいて、今後近く

おもんぱり戦火は数百万の無事

(むご)な生命とわれわれの

まねばなりませんでした。一

九五〇年六月二十五日未明、

北韓軍の全面南侵によって、

戦後世界を対決状況にさせた

冷戦が韓半島で烈な戦争と

なって爆発しました。三年に

愈々と闘争は絶え間なく続き

あります。三年前に入6・29民

主宣言)を発出点にて、韓国

を主導するのではなく、韓国

の新しい時代は言論と政治的

自由を無制限に開放していく

ことです。約四十年近い政治

的波乱の中でも、自由と民主

等、政治的条件の成熟は時間
を要する」とでしょう。しか
しそのために可能な限り可能
な分野から共同利益を実現さ
せるより協力関係を発展させね
ていかなければなりません。東北アジア諸国間の協力は、
アジア・太平洋時代の明るい
未来を開く原動力になるはず
です。アジア・太平洋地域が
新しい世紀の世界文明の中心に
なるであろうとの予言は以前
からあります。だが、われわれ
はそれが現実になりつつある時
代に生きています。この地域には無限の潜在力と活力
が噴出しています。

国際政治の多極化と地域的
な統合の動きが見て、ソ連と
に共同体関係を発展させよう
とは時代的な流れであると言
えます。日本と韓国の二十一
世紀もアジア・太平洋の平和と
繁栄に直結しているのです。
韓日両国は同僚として、
先頭に立つ。太平洋時代を開
いていかなければなりません。そ
のためにはわれわれはこの
地域の開放性と多様性を基
盤に、あらゆる国々を援助する
効率的な協力の分野を開拓
なければならないのです。いま
両国間の関係は、両国情の課
題だけにとどまらず、アジア
・太平洋の努力の土台である
とともに、その核心的な部分
となることでしょう。

両国間の関係は、両国情の課
題だけにとどまらず、アジア
・太平洋の努力の土台である
依存的であり、お互いに利害
をもたらすものであったことは、
われわれみなが確認して
きたことがあります。

経済ひとつをとっても
同様です。韓日両国はお互い

に米国に次ぐ第二の交易国となりました。世界の十大交易国の一員となつた韓国は日本を凌ぐ立場で、その市場です。

二十五年前、日本の対韓輸出がわずか二億㌦であったことを考えれば、韓国の発展は日本の大繁栄にも寄与するものであるといふことどうかがかかるべきです。繁栄する国家が近くあるのは日本の将来のためにも望ましいことです。韓国の発展は東アジア経済圏の地位を強化させることでしょう。このような次元から、交換と経済協力が今後も拡大強化されようみなさまが協調してくださることを希望します。

韓日間には慣習的な貿易不均衡の問題があります。日本は米国とヨーロッパに対し、市場開放と貿易不均衡改善のための努力を傾けています。韓国に対しても、そのような政策的な意図で不均衡を美徳的に改善するための措置をほどこしていくべきだときどく存じます。日本が競争を渡り、技術移転・消耗的であるとの指摘をもつています。海外市場における韓国の輸出増大が、日本企業に多少の競争を強いている面もあるのでしょうか。しかし、それは皮相な見解であり、日本からのよの多くの輸入が誘發されてきました。韓国が経済発展が日本の国家利益に合致するという認識のもとに、日本の技術移転と基礎科学協力を促進してくださるようお願いいたします。

大きいにありました。若い世代の交流が拡大していく研究と熱意が高まっています。いま両国お互いを理解しようとする研究と熱意が高まっています。いま両国は、その関係は政治、経済的協力の次元を超えて、各分野のあらゆる国民が文化交流、協力する包括的な議論友好の時代へと移行されなければなりません。

議員のみなさま、さまざまなもののが変化し、多くのものが発展したにもかかわらず、西国民間の眞の友情を阻むべき壁は依然として残されたままです。戦後四十五年が過ぎた世界大戦を経験したヨーロッパ諸国がひとつ共同体を築きあげてある現時点まで、われわれ西国人は不幸だった過去を整理できずにいます。去る時代の残酷(さんし)が西国関係発展の障害となっているのです。小学校に入つたばかりの韓国の児童が、学校で日本式の名前ではなく自分の名前を使つたり、母親から教わつた自國の言葉を使つたりしては先生から鞭(むち)打たれなければならなかつた痛みをみなさまは理解できないことを思われます。

過去の暗い時代、わが民族が味わつたさうに大きな苦痛と試練、その想像に耐え難い悲劇をいま、この席でお話しする必要はございません。今、われわれは国家を守ることのできるのみであり、過去を反省する理解であり、それを主軸として明るい未来を開くこと、それがみなさまに申し上げたいのは、両国民の眞実に基づく理解であり、それを主軸に恨みたりしそうとは思いますが、ううことであります。フランス人、ドイツ人、イギリス人が

ひとつのヨーロッパ人となるのは、かれらが真実の力で過去の過ちをはつきり洗い流し新たな歴史の創造に乗り出しができたなら、過ぎ去ったことは神でさる。しかし歴史は現在のわれわれが過去をどう考え、どう理解するかの問題です。つまりわれわれの行動次第で過去を束縛を断ち切り、過去の残滓を消し去ることができるのです。われわれみな勇気と絆が必要とされています。これに連して私がこの時で特にみなさまにお願いしたいことは、過去の歴史によじて日本に居住するようになった七千万の在日韓国人の問題です。

かれらは日本の国民と戦争の苦痛と共に、戦後日本の再建と発展に参画しました。かれらが親しい隣人として何の不便もなく日本本で暮すことができるなど、両国民は韓日友好を胸に感じられることができました。ただいま日本は過去の日本ではなく、新しい日本として生まれ変わりました。歴史と世界に対し開かれた日本日本はアジアと世界の認識を新たにしてくれることでしょう。

議員のみなさま、晴れた日に釜山の海岸から水平線に對馬の島が見えます。日本からもまた、釜山の灯が見えるでしょう。歴史が記録される以前、そのはるかな昔から今に至るまで、両国の人々はこの狭い海峡を渡る最も早い隣人として交流してまいりました。韓半島の古代文物が日本列島に渡り、日本の近代化の波が韓半島において寄せたな

です。朝鮮通信使は徳川幕府による鎖国政策にもかかわらず江戸に向けた唯一の外交を節でした。嚴原から江戸にきて遅い道程の出会いが、解れよつて開かれました。

両国間の不幸であった時は反好戦隣の長い歴史を通じれば、相対的に短い期間でありました。

日本には「流れだ水は水満席で、水車を回す新しい水は絶えず流れています。わが邦国間の眞の普世友好の時代はこのようにして再び開かれるでしょう。日本人が大事にされた茶道には古代韓國陶工たちの息吹が宿る茶器と、日本民族の清淨な精神（道）が調和を成しています。」(1)にまじめにかなる民族の被害意識も、いかなる民族の優越感も存在しません。ただひたすら調和の中で発見できる美と生命が美しいだけです。眞の隣人とはまさにいのちのよう関係を結ぶものではないでしょうか。共通の理想をつかつて、世界はこのような関係の上で世界観へ、未来へと手に手を取つて進まなければなりません。

近づきながら「近い隣」として、信頼し合ふ友人として、より平和で繁栄に満ち、自由と幸福があふれる世界を共につくりたいのです。創造していくのでありますか。来る世紀には東京を出発した日本の青年が玄海灘のウル友といつしょに北京とモスクワに、ペリとロンドンに、大陸を結び世界をひとつにつなぐ友情を満ちた旅路を歩みましょう。

発した日本の青年が玄海灘の海底トンネルを通過して、ソウルの親友といつしょに北京とモスクワに、パリとロンドンに、大陸を結び世界をひとつにつなぐ友情に満ちた旅行を楽しむ時代を共に創造しましょう。

ありがとうございました。